



TITLE:

京大上海センターニュースレター 第265号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科上海センター

CITATION:

京都大学経済学研究科上海センター. 京大上海センターニュースレター 第265号. 京大上海センターニュースレター 2009, 265

ISSUE DATE:

2009-05-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/74820>

RIGHT:

京大上海センターニュースレター

第 265 号 2009 年 5 月 11 日

京都大学経済学研究科上海センター

目次

- 「中国経済研究会」のお知らせ
- 外部研究会のお知らせ: 現代中国学会 2009 年度関西西部会大会
- 上海モーターショーあれこれ
- 上海万博最新情報
- 【中国経済最新統計】(試行版)

+++++

「中国経済研究会」のお知らせ

2009 年度第二回目の研究会は下記の要領で開催されますので、ご自由に参加してください。

記

時 間： 5 月 19 日 16:45-18:15
場 所： 京都大学吉田キャンパス・法経済学部東館 108 演習室
報告者： 沈金虎（京都大学農学研究科講師）
テーマ： 中国の格差拡大と環境悪化問題
—これまでの経済改革の「陰」と成熟する近代国家を目指すための課題—

講師略歴：

1961 年 中国無錫市生まれ。1982 年 南京農業大学農業経済管理学部卒。1989 年 京大農学研究科農林経済学専攻博士課程修了、農学博士。南九州大学講師、助教授を経て、1998 年～現在、京大農学研究科生物資源経済学専攻講師。
専門領域： 農業経済学、中国の農業・農村・農民問題
著 書：『日本の大豆生産・消費に関する経済分析』中国農業出版社、2003 年
『現代中国農業経済論—近代化への歩みと挑戦』農林統計協会、2007 年

注：本研究会は原則として授業期間中の毎月第 3 火曜日に行います。2009 年度における開催(予定)日は以下の通りです。

前期：4 月 21 日(火)、5 月 19 日(火)、6 月 16 日(火)、7 月 21 日(火)
後期：10 月 20 日(火)、11 月 17 日(火)、12 月 15 日(火)、1 月 19 日(火)

(この件に関するお問い合わせは劉徳強(liu@econ.kyoto-u.ac.jp)までお願いします。なお、研究会終了後、有志による懇親会が予定されています。)

外部研究会のお知らせ

日本現代中国学会 2009 年度関西西部会大会のご案内

4 回目の開催となります 2009 年度関西西部会大会のプログラムをお届けいたします。周囲の方々にもお声をかけていただき、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

出欠につきましては、添付しました「参加申込書」にご記入の上、6 月 3 日(水)までに、電子メールもしくはファックスにて事務局総務宛ご回答ください。会場の都合上、事前に参加人数を把握する必要

がございますので、お手数ですがご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

参加申込書 送信先 関西西部会事務局（総務）日野みどり

電子メール：hino@kinjo-u.ac.jp

ファックス：052-799-2196（金城学院大学現代文化学部：「日野宛」と明記願います）

詳しい内容については以下のホームページからご覧いただけます。

<http://www.soc.nii.ac.jp/jamcs/chiiki.html>

日本現代中国学会 2009 年度関西西部会大会

〈プログラム〉

日 時 2009 年 6 月 13 日（土）10:00～17:30（受付は 6F にて午前 9 時 30 分より開始）

会 場 大阪市立大学文化交流センター（大阪駅前第二ビル 6F）・生涯学習センター（同 5F）

参加費 無料（懇親会費用は別途）

〔自由論題報告〕

【政治・社会分科会】（6F 大セミナー室）

関 穎「合同（共同）軍事演習の新展開—中国の「新安全保障観」との関連」

畢麗傑「中国における高齢者介護の社会化と在宅介護」

聶海松「中国海南省における高齢者生活に関する研究—2008 年の調査から」

【文学・思想分科会】（5F 生涯学習センター）

南真理「現代中国の抗日戦争テレビドラマについて」

大野陽介「建国初期の現代戯にみる女性像について—「劉巧児」を中心に」

吉田世志子「「百花齊放」から「反右派闘争」の中の老舍—『茶館』を中心に」

【経済分科会】（6F ホール）

登り山和希（大阪市立大学大学院経済学研究科）「企業改革下における上海港湾企業の変化と課題」

堀喜丈「中国における小口融資会社の発展と諸問題」

韓光燦「鞍鋼における余剰人員の整理と削減—ソフト予算制約の解消の視点から」

【歴史分科会】（6F 小セミナー室）

新地比呂志「改組派の結成と中国共産党との相克」

王雪萍「中国の歴史教育課程における階級闘争史観の変容—「教学大綱」と歴史書の記述の変化を中心に」

大西広「チベット農奴制の歴史的な位置づけについて」

〔共通論題〕 13:40～17:30 「現代中国」——問われる正統性とその再構築過程

13:40～14:00 問題提起：西村成雄（放送大学）

パネリスト／討論者：

14:00～14:40 【政治・法律領域】 高見沢麿（東京大学）／宇田川幸則（名古屋大学）

14:40～15:20 【経済領域】 加藤弘之（神戸大学）／劉徳強（京都大学）

15:30～16:10 【歴史領域】 三品英憲（和歌山大学）／田中仁（大阪大学）

16:10～16:50 【文学・思想領域】 瀬戸宏（摂南大学）／宇野木洋（立命館大学）

16:50～17:30 全体討論

〔懇親会〕（18:00～20:00）

会場 検討中

会費 一般 5,000 円 学生（院生）3,000 円

*参加希望者は必ず事前に出席のご連絡をお願いします。

上海モーターショーあれこれ

07. MAY. 09

小島正憲

4/22～28まで、モーターショーが上海浦東新区の上海新国際博覧中心で開催された。

初日の来場者は6万8千人、25日の土曜日は13万6千人、26日の日曜日は12万1千人を超え、通算では60万人に達し、過去最高を記録した。私は中国での車の売れ行きが今後の世界経済を左右することになると思い、それを見定めるためにこの会場に足を運んだ。とは言うものの、車にはまったくの素人なので、京大の塩地洋教授の後ろにくっついて歩きいろいろと教えていただいたというのが本当のところである。とにかく会場は大変な人混みで先生にはぐれないように付いていくのがやっとだった。いずれにせよモーターショーは運にも恵まれて大盛況で終わった。もし開催が2週間遅れていたら、豚インフルエンザの影響で開催は中止になっていたかもしれないし、もし開催されていても人出はかなり減っただろうと思うからである。きっと中国の経済発展を神様も応援しているのだろう。

今回の上海モーターショー(正式名:第13回上海国際汽車工業博覧会)では、展示面積が一昨年より20%増の約17万平米となり、世界各国から約1400社の参加があり、計918台が展示された。展示の内訳は、輸入車が316台、国産車が602台であり、中でもトヨタは4500平米を確保し約50台を並べ、中国の同様の展示会と比較して過去最大規模となったという。ダイハツを除くその他の日本メーカーもそれぞれ力を入れた展示をしていた。破産もうわさされている米のビッグ3も、ここでは積極的な展開を見せていた。なお欧米メーカーでは仏のルノー、伊のフィアットが経営不振で出展を断念していた。中国の3月の自動車販売は過去最高の111万台にせまっており、このままの調子でいくと通年では米国を抜き、世界トップになる可能性が出てきた。欧米や日本の自動車需要が冷え込む中、中国が世界最大の自動車市場として存在感を急速に高めている。そのような中で上海モーターショーだけに、各自動車メーカーもこれに全力で取り組んでいた。

まず私たちは奇瑞公司のQQの新車を見に行った。なぜなら中国政府の新政策の結果、この小型車が大量に売れ始めているというので、ぜひ見てみたかったからである。この車は3～5万元で販売されており、セカンドカーとしても買いやすい値段となっている。この中国政府の新政策とは以下のようなものである。まず消費刺激策の一環として、1600cc以下の自動車の取得税を5%に半減させたことである。その減税効果で3月はこのクラスの販売が激増した。次に3月からは農村でのオート三輪などから小型車への買い替えに補助金を出す「汽車下郷(農村に自動車を)」制度を開始したことである。したがって今後も低価格の小型車の販売が増加するとみられている。

《奇瑞の新QQ》

余談ながら、翌日私がマンションのベランダから、なにげなく駐車場を見ているとそこに薄緑色のQQが入ってきた。中からは4階の住人の奥さんが出てきた。たしかご主人はGMの黒のビュイックに乗っていたから、あれは奥さん専用のセカンドカーに違いないと思った。しかし奥さんもご主人とは違う会社の総経理で、かなり高収入であると聞いていたので、きっとそのうち別的高级車に乗り換えるのだらうと思い直した。同時に中国では共稼ぎが一般的で男女の給与差がないので、日本や欧米よりも車が売れるようになるのではないかと考えた。

次にBYDのコーナーに行った。中国自主ブランドメーカーの比亞迪(BYD)汽車の車は、現在、中国でもっとも売れており、3月の販売台数は3万3千台に及び、昨年同月対比231%となり、中国自主ブランドメーカーの中でトップとなった。BYDの王伝福総裁は、今年の販売台数目標を40万台とし、民族系大手の奇瑞を抜きトップを狙うと豪語している。たしかにコーナーには人が多かった。そのBYDも昨年末に家庭用電源で充電可能なプラグイン型ハイブリッド車を発売したが、まだ1台も売れていないという。たしかにBYDのHV車コーナーには人が少なく、人気がないようだった。

トヨタのコーナーに行ってみた。広い場所を確保しゆつたりと展示しているように見えたが、それまで民族系の派手な展示を見慣れてきたので、かなりおとなしく感じた。数日前に、トヨタの合弁会社＝広州豊田汽車生産のカムリのブレーキが不具合で、26万台のリコールが発表されており、その影響かとも思った。またトヨタのコーナーにはモデルがいなかったのも、カメラを構えシャッターを切る中国人が少なかった。

《トヨタの展示コーナー》

それでもHV車には多くの人が関心を寄せており、説明係の女性が一生懸命応対していた。またレクサスの展示場は対面にあり、一段と立派だった。その



後、ホンダ、マツダ、ニッサン、スズキなどのコーナーを回ったが、概して日本車の展示はおとなしい感じがした。ついでフェラーリの展示場に行こうと思ったが、人混みで近づけず断念した。

民族系の自動車メーカーはモデルをたくさん登用して派手な演出をしていた。それらは車に魅力がない分をモデルでカバーしようというような感じを受けるほどだった。それでも中国人の観客はカメラを持って、一生懸命にモデルを映すので、《フェラーリ前の大混雑》

きれいなモデルの前には人の山ができており、肝心の車はまったく見る事ができなかった。なお中国政府は国内の自動車メーカーを現在の15社から10社以内に絞り込む計画を年内に発表するという。次のモーターショーでは、これらの民族系メーカーがかなり減っているだろう。

最後に日系や台湾、韓国の部品メーカーのところへ行行った。中国の国産部品メーカーのところは人がちらほらいるだけだった。なお、事前の情報では中国の自動車部品サプライヤーの4割が資金難にあえいでいるということだった。



《フォードの展示コーナー》



《部品メーカーの展示場》



《ダイムラーの小型車》

上海万博最新情報

11. MAY. 09

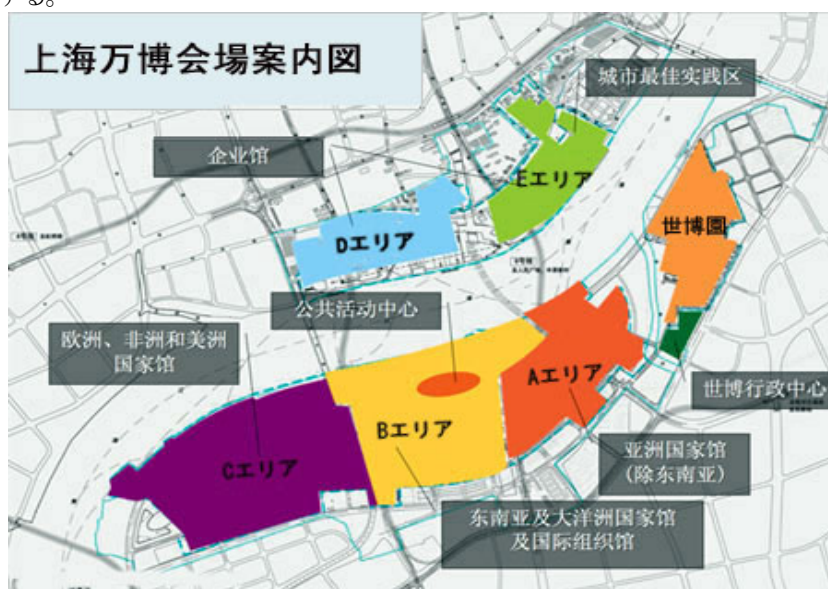
小島正憲

2010年5月1日の開幕が予定されている上海万博は、今、着々と準備が進んでいる。しかしながら昨年来の金融危機で、工期遅れや出展規模の縮小もささやかれている。また中国ならではの諸対策も講じられ始めている。今回はそれらの最新情報をお届けする。

1. 一般情報。

①万博会場の建設風景

万博海上の建設は急ピッチで行われている。ちょうど真ん中に位置する盧浦大橋からはその現場をじっくり見ることができる。橋の途中で停車するわけにはいかないが、橋のたもとで38元を払ってエレベーターに乗れば、ウオッチスポットに行くことができる。6月からはそのエレベーターも建設現場観光客を狙って80元に値上げされることが決まっている。まさに商魂たくましいといふべきか。





《浦西の建設現場》



《盧浦大橋のウオッチスポット》



《浦東の建設現場》

②外国展示館着工期限を6月30日に決定。

上海万博事務協調局は、外国展示館＝国家館建設の着工の最終期限を6月30日に決定したと発表。上海万博では約40か国が独自の国家館を建設予定だったが、昨年来の金融危機の影響からか、着工済みは15館程度だという。ことに米国館は建築費用(約60億円)の募金が集まらず苦戦中。それでも4月に、在米華僑が米国館に1億ドルにのぼる資金提供を表明したといわれているので、早晚建設が始まるかもしれない。上海万博の関係筋は、「まだ建設工事を始めていない国との協議と交渉を強めていく」としている。

③中国館へぼんと14億円、28億円寄付。

香港の有力実業家:李嘉誠氏が率いる不動産開発大手の長江実業とハチソン・ワンポアの幹部は、4月22日、俞正声上海共産党書記と会談し、万博の中国館に両社共同し総額1億円の寄付を申し出た。

次いで中国館は「上海煙草集团公司」から2億円の寄付を受け入れたと発表。

その反面、万博協賛企業を世界中から募集したが、外国企業の寄金はほとんどなく、国内企業の応募が主となり、事務局の狙いは空振りに終わったようだ。

④万博テロ対策は3次元防御システム。

上海公安边防総隊の関係者は、上海南匯区で行われた上海万博海上安全防衛訓練誓立会で、「海底、海上、空中からなる3次元防衛システムを構築し、テロにつけいるスキを与えない」と話し、次のようにその内容を補足した。

万博期間中、フロッグマンが隠蔽偵察、秘密潜入、海底突撃、逮捕といった危険な任務を担う。目下、猛特訓中。ヘリコプター・ロープ降下スペシャルフォースは、上海市公安局警察用ヘリコプターと協力して、迅速に目標地域に到達することを目指し訓練中。また海警1001艦と協調して海空両面でのテロ対策を実施できるように計画。

上海海域は全国沿海边防総隊の30隻余りの艦艇と共に、万博海上安全防衛訓練を発足させた。

⑤上海市の万博効果観光収入は、3100億元？

上海市旅遊局の道書明局長は、万博期間中の上海の観光収入は3100億元に達するとの見通しを発表した。ちなみに08年度の観光収入は2060億元。

⑥無料貸し出し自転車を用意。

上海自転車展覧会組織委員会などが、広大な万博会場を考慮して、無料自転車1万台を用意するという。利用者は20元の保証金を払って借り出し、返却時にお金を戻してもらう仕組み。貸し出し所は会場内に60か所設けるといふ。各自転車は無線管理できるようにし、それぞれの走行情報を前もって把握し、各パビリオンへ到着してからの待ち時間を短縮し、迅速に入館できるように工夫するという。もしこれが実現可能ならば画期的な試みなので、ぜひ私もこの自転車を利用してみたいと思う。

⑦浦東・浦西両会場をつなぐ専用トンネル、6月末に開通予定。

万博の浦東・浦西をつなぐ専用トンネルが6/28から一部使用可能となる。全線開通は年末。このトンネルは盧浦大橋と南浦大橋の中間にあり万博観光には大変便利。その他、今年中に黄浦江をくぐるトンネルが数本開通する予定。

⑧万博訴訟サービスセンター設立。

上海市浦東新区法院は4月30日、「万博訴訟サービスセンター」の発足式を行った。このセンターは万博関係の訴訟を専門に扱い、迅速に処理することを目的としている。万博関係者は「現在、万博の準備が進行している最中で、各種の矛盾が発生してきている。法院が万博区域の社会矛盾の解決に積極的に関与してくれることはありがたいことである」と語っている。

⑨万博関連建設事業の増値税返還システム完成。

国家税務総局は2008年6月、上海万博への海外からの出展者が展示館の建設に使用した資材などの増値税を返還することを決定。今回、それをより早く、より便利に行うためのシステムを完成したと発表。

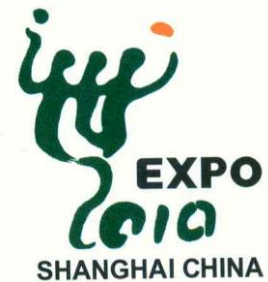
2. 上海世博会事務局の担当者からの宣伝情報。

[中小企業家同友会上海倶楽部事務局]

① 基本情報

- ・公式名称 : 中国2010年上海万国博覧会 (World Expo 2010 Shanghai China)
- ・テーマ : より良い都市、よりよい生活 (Better City, Better life)
- ・ロゴの意味 :

イメージから見て、一つの 3 人家庭が抱き合って笑うかのようで、家庭の睦まじさを表した。また「あなた、私、彼」と表現することで、全人類を包含していることを象徴し、万博の「理解、疎通、楽しく集う、協力」という理念を主張している。ロゴ図案の形は、漢字の「世」と似ており、数字の「2010」と巧みに組み合わせられて、漢字と数字のバランスがよく、中国人民が共に世界的、多元文化融合的な博覧会を開催するという強い願望を表している。このロゴは、全世界から募集し、専門家の審議を通じて、9046個の応募作品から選ばれた作品である。



- ・参加状況 : 4月10日現在、196の国と国際機関が開催者との参加契約に調印。160の国と国際機関が陳列区域政府総代表を任命済み。

《公式参加国と国際機関についての過去の万博との比較》

- ・1970年大阪万博: 77カ国と4国際機関
- ・2000年ハノーバー万博: 155カ国と17国際機関
- ・2005年愛知万博: 121カ国と4国際機関
- ・2008年サラゴサ万博: 103カ国と5国際機関
- ・2010年上海万博: 200カ国と国際機関

《入場者数の比較》

- ・1970年大阪万博: 64,218,770人
- ・2000年ハノーバー万博: 18,000,000人
- ・2005年愛知万博: 22,049,544人
- ・2008年サラゴサ万博: 5,650,000人
- ・2010年上海万博: 予定 70,000,000人

② 会場計画

- ・上海万博会場は、徒歩に適した距離や参観者の認知度などの諸要素を総合的に考え、黄浦江兩岸を取り巻く南浦大橋と盧浦大橋間の濱江地区、浦東、浦西両部分から形成されている。

③ 会場整備

- ・“4パビリオン”と“万博軸”は万博園区内の主な建築物であり、最も重要な展示と観賞区域であり、永久に保蔵する建物でもある、“4パビリオン”は万博センター、テーマ館、中国館及び演芸センターを指す。“万博軸”とは会場におけるセントラル交通の軸線である。工事全体は2009年末完成する予定である。



《浦東会場》

- ・万博センターは会期中式典、歓迎レセプション、シンポジウムなどを催す場所である、工事は2007年6月着工して以来、建物の構造が整備終了している。内装や展示などは2009年末に完成する予定である。
- ・中国館は2007年着工、2008年12月に建物の構造建築が終了、2009年9月に完成予定となっている、テーマは「都市発展における中国の叢智」である
- ・テーマ館は2007年11月着工、2008年12月構造建築が終了、2009年9月に完成する予定である。万博のテーマであるベターシティー・ベターライフをかね、来場者に見学と体験をしていただく目玉となるパビリオンである。
- ・万博演芸センターはパフォーマンスセンターとも称し、敷地は12.6万平方メートルである、ハイレベルの演芸ショーと文化イベントを催す場所であり、2009年内に完成する予定である。
- ・インフラ設備の進行状況

万博村の建設は内装工事へと進んでおり、一部は使用可能となっている。万博パークは外観ができあがっている。道路、橋や水門、黄浦江トンネル、地下鉄電車などの交通インフラも年内に相次いで完成予定となっている。

・外国のパビリオン

A、B、C ゾーンのパビリオン建設用地はすべて整地終了。日本を始め一部独自出展の国はパビリオン工事開始。レンタル館と共同館の整備は今年上半期完成、下半期に各国へ引渡す予定となっている。

《パビリオン出展三つの方式》

・自主 参加者が独自に設計建築を行う館

39 の国と国際機関が参加契約調印

43 の国と国際機関が陳列区域代表確定

32 の国と国際機関がパビリオンデザイン提出

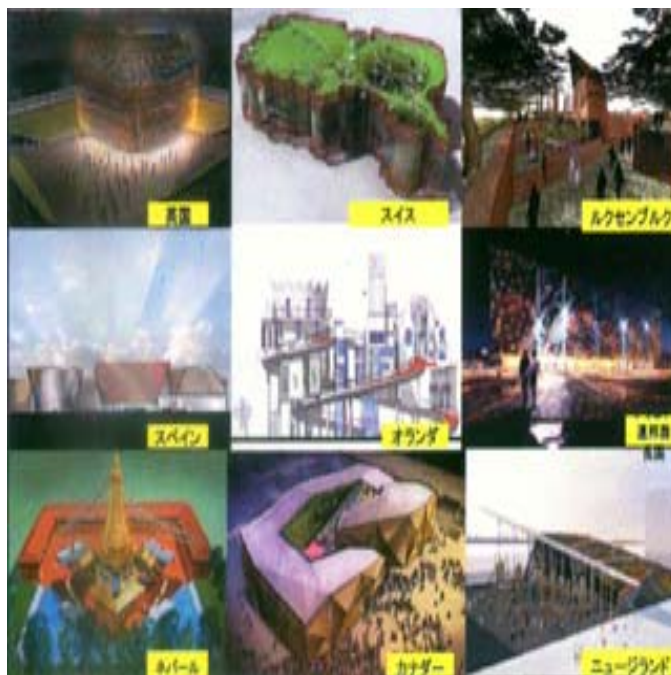
・レンタル館：開催者が作り参加者にレンタルする館

30 の国と国際機関が参加契約調印

34 の国と国際機関が陳列区域代表確定

・共同館 途上国が利用する館

150 余りの国と国際機関が対象。現在パビリオン外観デザインのデコレーションを募集中である。



《各国のパビリオン》

④ 交通インフラ整備

- ・予測では来場者数のべ 7000 万人以上であり、一日あたりの平均来場者数のべ 40 万人、ピーク時一日あたりのべ 60 万人、最大 80 万人と予想している。
- ・万博会場への交通アクセスは、地下交通の利用者は50%、地面公共交通の利用者は35%、水上交通の利用者は10%、その他交通の利用者は5%それぞれと予想している。
- ・現在、上海市内は地下鉄工事の真っ最中で、あちこちで道路が通行止めになっている。これも、2010 年の万博に向けての布石で、現在総延長 140 キロしかない地下鉄網が、2010 年には 400 キロとなり、一気に世界有数の地下鉄ネットワーク保有都市となる。そのほか、虹橋空港に鉄道・航空・地下鉄・長距離バスを組み合わせた交通ターミナルが完成する。上海駅・上海南駅とともに、巨大鉄道ターミナルが一つ増え、年間のべ8100 万人の乗客をさばけるようになる。現在工事中の浦東国際空港の拡張工事も完成すれば、計画では年間 8000 万人の乗客を輸送できるようになる。地下鉄 2 号線も浦東空港まで接続され、空港アクセスは 2 空港とも地下鉄で可能になる。

④ ベストシティ実践区

- ・出展分野：住みよい家、持続可能な都市化、歴史遺産の保護と利用、環境の科学技術革新がテーマ。
- ・出展方式：展示はシアター方式、フォーラム方式、マルチメディア方式、インターネット方式、展示板方式などさまざまな手段が可能である。
- ・出展案件：ベストシティ実践区の全体配置と景観の最終全体設計案は現在確定され、すべての都市の実物案件は、建築デザインが提出済み。現在、開催者は 41 の都市事例と「出展契約」を結び、10 あまりの案件が展示プランを提出、その内、複数の実物案件が着工、建築の段階に入っている。

⑥ イベントなど。

- ・上海万博開幕前後や、会場内外で各種イベント(出展者が行う各種商業イベントを含まず)が開催される予定である。
- ・上海万博の会期は184日である。現在、会場内の公共活動場所は33カ所あり、1カ所当たり3回のイベントで計算すれば、毎日の会場内の各種イベントは100回に近い、イベント総数は2万回に達する見込みである。

以上

【中国経済最新統計】（試行版）

上海センターは、協力会会員を始めとする読者の皆様方へのサービスを充実する一環として、激動する中国経済に関する最新の統計情報を毎週お届けすることになりましたが、今後必要に応じて項目や表示方法などを見直す可能性がありますので、当面、試行版として提供し、引用を差し控えるようよろしくお願いいたします。 編集者より

	① 実 質 GDP 増加率 (%)	② 工 業 付 加 価 値 増 加 率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加 率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億 ^{ドル})	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加 率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005 年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006 年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007 年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008 年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
1 月			21.2	7.1		194	26.5	27.6	▲13.4	109.8	18.9	16.7
2 月		(15.4)	19.1	8.7	(24.3)	82	6.3	35.6	▲38.0	38.3	17.4	15.7
3 月	10.6	17.8	21.5	8.3	27.3	131	30.3	24.9	▲28.1	39.6	16.2	14.8
4 月		15.7	22.0	8.5	25.4	164	21.8	26.8	▲16.7	52.7	16.9	14.7
5 月		16.0	21.6	7.7	25.4	198	28.2	40.7	▲11.0	38.0	18.0	14.9
6 月	10.4	16.0	23.0	7.1	29.5	207	17.2	31.4	▲27.2	14.6	17.3	14.1
7 月		14.7	23.3	6.3	29.2	252	26.7	33.7	▲22.2	38.5	16.3	14.6
8 月		12.8	23.2	4.9	28.1	289	21.0	23.0	▲39.5	39.7	15.9	14.3
9 月	9.9	11.4	23.2	4.6	29.0	294	21.4	21.2	▲40.3	26.0	15.2	14.5
10 月		8.2	22.0	4.0	24.4	353	19.0	15.4	▲26.1	▲0.8	15.0	14.6
11 月		5.4	20.8	2.4	23.8	402	▲2.2	▲18.0	▲38.3	▲36.5	14.7	13.2
12 月	9.0	5.7	19.0	1.2	22.3	390	▲2.8	▲21.3	▲25.8	▲5.7	17.8	15.9
2009 年												
1 月				1.0		391	▲17.5	▲43.1	▲48.7	▲32.7	18.7	18.6
2 月		(3.8)	(15.2)	▲1.6	(26.5)	48	▲25.7	▲24.1	▲13.0	▲15.8	20.5	24.2
3 月	6.1	8.3	14.7	▲1.2	30.3	186	▲17.1	▲25.1	▲30.4	▲9.5	25.5	29.8

- 注：1.①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。
2.中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1 月と 2 月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は 1 月と 2 月を合計した増加率を示している。
3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の 86%（2007 年）を占めている。⑥―⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。
出所：①―⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。